

実施年月日 2026年2月21日

介護サービス担当者のためのストーマケア講習会

初回到介護福祉士、ヘルパーなど30名が受講

介護サービス担当者のための第1回ストーマケア講習会が2月21日（土）神戸市立総合福祉センターで兵庫県支部と一般社団法人兵庫県介護福祉士会の共催で開催されました。講習会には、受講を申し込んだ兵庫県内の介護福祉士、ヘルパー、介護職員など30名が参加して、ストーマの基礎知識や装具交換の実技、指導を受けました。

講習会では、協会支部の川村支部長が講習会の目的など説明、講師の明和病院の皮膚・排泄ケア認定看護師(WOCN)の森知佐子さんが「ストーマケアの基礎」と題してスライドで詳しく説明しました。

引き続き、森 WOCN の指導により装具交換の実技演習に移り、6つのテーブルに分かれ、それぞれ2名の WOCN がインストラクターとして付き添いストーマ袋、面板を模擬の肌に貼る実習訓練をしました。

受講者たちは、ストーマ装具を見るのも触るのも初めてという人もいて、慣れぬ手つきで面板をカットしたり模擬の肌に貼り付けるのに苦労していました。

演習の後は、西宮市立中央病院の副院長で外科主任部長の大西直先生が「消化管のストーマ」と題して、ストーマの造設や合併症などについて解説して頂きました。

講習会の最後に、全員に受講証明書が渡されましたが、参加者からは「初めてだったが、講義だけでなく実際に装具を使って実技演習ができたのがよかった」「ストーマケアへの理解が深まった」「もう少し時間があればなおよかった」などの感想が寄せられていました。

なお、この講習会は、兵庫県、神戸市の後援、NHK 歳末助け合いの募金の配分金で開催しました。次回は、本年9月ごろ開催の予定です。

※講演資料は、支部ホームページの「講演内容の詳細」または、[こちらから直接ごらんになれます。](#)

		
介護職のためのストーマケア講習会	講師の森 WOCN 大西直先生	装具の交換実習
		
模擬の肌に貼り付け	6グループに分かれて演習	受講証明書